

7月30日 【気仙沼市 東日本大震災遺構・伝承館を視察】  
震災時・直後の映像を見せていただき、気仙沼向洋高校の旧校舎を見学しました。  
2011年3月11日発生の、東日本大震災による大津波とその後の大規模な火災の死者は、1,143人(震災関連死を含む)になりました。

気仙沼で見かける「海と生きる」「津波死ゼロのまちづくり」。

気持ちを文字にしたら、そういうことなのだと、気仙沼の方々にしか本当にはわからない観念がそこにはあります。

武蔵村山市には海はありませんが「想定外」の災害に直面する可能性はあります。想定の中で作成されている防災計画等、すべては想定の中です。視察で学んだことを、武蔵村山市の防災に活かしていきます。



8月9日 【第60回 東京河川改修促進連盟総会及び促進大会に参加】

連盟である14区21市2町1村からは、河川の改修を進めつつも、多様な生物の生育、生息の場であり続けるよう、環境に配慮していただきたいという意見がありました。生物多様性を確保し、河川環境の整備と保全をし、多自然川づくりを推進していきたいです。

〈東京都水防災総合システム〉

洪水や高潮等による被害を軽減するため、自助、共助を資する防災情報を、24時間365日、リアルタイムにインターネットで都民に提供するシステム。



8月19日 【三多摩上下水及び道路建設促進協議会】  
東京都へ「東京都三多摩地域上下水道及び道路建設事業に対する陳情書」を第2委員会副委員長として提出しました。

多摩地域の実情をご賢察いただき、更なる財政負担の軽減、施設整備の促進等、特段の措置を講じられましたよう陳情いたしました。

8月31日 【空堀川雨水幹線整備事業説明会に参加】  
15年ほどかけ、空堀川上流雨水幹線の約9.5kmの整備を行うのですが、今回工事の範囲は、東大和市の向原西公園～上仲原公園の約2kmです。幹線全体の整備完了までは期間を要するため、完成区間を貯留管として暫定稼働し、貯留した水は、降雨終了後に既設雨水管へポンプ排出し、河川へ放流することで、早期の効果発現を目指すとのことです。

9月10日 【敬老会に出席】  
感染症対策のもと「敬老会」が開催されました。演歌舞踊、レクダンス、フルート、ピアノ演奏、民謡踊り、落語、お互いさま体操が行われました。

【むさしむらやまお互いさま体操(YouTube)】

### トウキョウサンショウウオ

野山北・六道山公園では、トウキョウサンショウウオが生息できるよう、水を溜め、保護活動が行われています(盗掘等があるといけないため、細かい場所はお知らせできませんが素敵な場所にあります)。

トウキョウサンショウウオは、環境省のレッドデータブックでは絶滅危惧II類ですが、東京都レッドリストはII類よりも絶滅の危険性が高いI類に指定されています。

8月中旬、いつも10月に開花するマヤランを見ることができました。野山北・六道山公園では、とても残念なことに、カタクリの花やランなど、動植物の盗掘、盗採の被害があります。皆で動植物の生息を見守れるようありたいですね。



**【清水あやこ後援会に加入してくださる方募集中】**会費は無料です。ホームページの「後援会入会」からまたは、koreadoresudesu@docomo.ne.jpに、「後援会入会希望」として、住所、氏名、電話番号を送信してください。いただいた個人情報は後援会事務局で管理し、後援会に関する事以外の目的に使用されることはありません。応援よろしくお願ひします。



MAIL

### 清水あやこプロフィール

・昭和54年4月24日神奈川県藤沢市生まれ。・自衛官の夫、3人の子どもがいます。・植物が大好きで、コウモリラン、多肉植物、クリスマスローズなどを育てています。  
〒208-8501 東京都武蔵村山市本町1-1-1 武蔵村山市役所  
議会事務局清水彩子宛

清水あやこ  
ホームページ



武蔵村山市議会  
ネット配信ページ



## 武蔵村山市議会議員 清水あやこ 活動報告

# あやこ REPORT

あやれば

安心できる優しいまち武蔵村山に



### 令和3年度の決算を認定しました。

一般会計の歳入決算総額は330億3,945万1,617円で、予算現額に対する収入率は99.2%でした。歳出の決算総額は、317億2,307万5011円で、予算減額に対する執行率は95.3%であり、概ね予算どおりに執行されました。詳しくは「市報むさしむらやま」の掲載内容のため、そちらをご確認ください。

### 9月議会一般質問

① 武蔵村山市を活性化させる若者の起業について



新政会  
清水 彩子 議員

近年、国の主導で労働に関するさまざまな改革が進み、働き方も多様化している。副業を解禁する企業も増え、副業で小さくビジネスをはじめ、軌道に乗り独立するという方も増えている。

社会課題、SDGsに対し学びを深めていくうちに「自分が考えたアイデアを活かして起業したい」という目標が立ったり「自分の力を試したい」「より楽しく生きたい」「自分らしく生きたい」という自己実現を求め起業する方もいる。

地域に元気な起業家がいることで、その人のところに仕事や人が集まるため、そのエネルギーを、武蔵村山市のエネルギーにもしていくような仕組みづくりをし、武蔵村山市がバージョンアップする持続可能なまちづくりをしていきたいと考える。

今回特に「若者」に特化した理由としては、2021年のベンチャー白書で、初めて起業した年齢として、20代以下の起業が、34.8%を占めていることや、30代から40代のように、これまでの社会経験や会社員時代の人脈をうまく生かすことが難しいという点では支援が必要とされているためである。

SDGsの目標のひとつに「働きがいも経済成長も」という目標がある。

これからは、武蔵村山市で若者が、新しい暮らしや働き方にチャレンジし、事業を創出する仲間とつながり、若者が夢を叶えるまちとなり、若者が若者を呼び、活気ある武蔵村山市にしていきたいと考えるため、起業に必要な知識を身に付けられる場所、相談しやすい環境づくりを整備したいことから、武蔵村山市を活性化させる若者の起業について、市と起業を支援する機関との連携及び市の取り組みについて伺う。

#### (市長答弁)

本市では、市内での創業を希望する者を支援し、地域経済の活性化を図るために、平成27年10月に武蔵村山市創業支援等事業計画について、国の認定を受けたところである。

本計画では、創業支援事業である創業塾や個別相談などの事業を行っております武蔵村山市商工会と多摩信用金庫を認定連携創業支援事業者としている。

また、そのほかの連携機関としては、独立行政法人中小企業基盤整備機構が運営する中小企業大学校東京校や日本政策金融公庫があり、これらの機関と連携を図りながら、支援を行うこととしている。

あわせて、本市の取組としては、創業塾や創業セミナーの開催を通じて、創業希望者等の支援を行っているところである。

また、産業観光課を相談窓口として創業希望者等が必要とする支援についての情報を提供するとともに、専門的な相談については、事前予約制の個別相談を実施している。

※再質問はこちらからご確認ください。▶



#### 一般質問に関する豆知識【若者の起業環境】

2021年のベンチャー白書の調査によると、起業の動機として「社会的な課題解決をしたい、社会の役に立ちたい」という動機が、2018年度59.8%でしたが、2021年には73.7%と、年々上昇しています。

若者が起業を誰に反対されたかという問い合わせに、父親47.1%、母親35.3%と、親の反対が多い。逆に起業にあたり最も影響をうけた人や背中を押してくれた人で、親と答えた人はわずか0.7%です。

反対されたけれど起業した理由は「自分の夢や思いを実現したかった」が76.5%と高く、起業したあとの周囲の評価は、評価が下がったの17.2%に比べ、大いに評価されていると多少評価されているの合計は79.1%にもなっています。親世代の不安が課題であることがわかります。

#### 一般質問に関する豆知識【起業家教育とは】

平成27年に文部科学省協力のもと「初等中等教育段階における起業家教育の普及に関する検討会」が作成した資料によると「起業家教育は、起業家や経営者だけに必要な特殊な教育ではありません。高い志や意欲を持つ自立した人間として、他者と協働しながら、新しい価値を創造する力など、これから時代を生きていくために必要な力の育成のための教育手法です。チャレンジ精神、創造性、探究心等の「起業家精神」や、情報収集・分析力、判断力、実行力、リーダーシップ、コミュニケーション力等の「起業家の資質・能力」の育成を目指すもの」とあります。

そうした教育手法であると分かれば、日本人が苦手とする社会で必要になるスキルであり、起業家教育の必要性もわかります。

#### 一般質問に関する豆知識【参考になるサイト】

◎中小企業の経営に関する情報を

提供することを目的とするサイト「ジェイネット21」▶



◎デジタル庁が運営する、インターネット経由で補助金の申請手続きができる「jGrants」▶



◎日本政府公式Webサイト「ミラサポplus」▶



## ② 将来の市民総合センターのビジョンについて

今回の質問は、これからの公共施設の在り方に対し、様々な案が活発に出てくることを願っての質問です。市民の皆様も、今後公共施設のあり方について市から意見の公募(パブリックコメント)があった際には、様々なご意見、ご提案をしてください。

孤立は全世代の課題であり、年齢、性別、障がいの有無に関係なく繋がる、多世代交流、地域共生社会、インクルーシブ社会という、多様な市民の支え合いと参画が大切である。

現在、日本では、インクルーシブ公園が増えはじめ、パリアフリーの施設はたくさんありますが、インクルーシブな公共施設はあまりないのではないかと思う。多様な市民が利用しやすい、利用して楽しい公共施設づくりの必要性を感じる。

武蔵村山市では、公共施設が老朽化しているという課題があり、また新庁舎、モノレール駅の予定もあるため、これから何年かかけ、パズルをつくりあげるように、武蔵村山市の公共施設の在り方について組み立てられていく。

市民総合センターは、モノレールの1つ目の駅と近いため、駅周辺に、何ができるのかにより、市民総合センターにどのような機能を入れるのかも考える必要がある。

東京都から徐々に情報を入れながら調整していただき、1つの駅周辺も市民総合センターも充実し、住んでよかったと市民が感じる武蔵村山市になるようにしていただきたい。

公共施設は、多くの市民が利用する場所である。この先、それぞれの公共施設が、どのようになったらいいと思うか、市民の皆さんのが柔軟で自由な発想が、今後ご意見として出てくるきっかけになればと思い、今回は、市民総合センターについて考えた。

市民総合センターで多世代が交流できると、様々な課題解決につながるため、図書館、市民大学、高齢者のeスポーツ施設、インキュベーション施設を設置し、多世代交流ができるインクルーシブな公共施設にできないか伺う。

#### (市長答弁)

市民総合センターについては、現時点では、将来的な施設の方向性は決定していないが、平成29年3月に策定した武蔵村山市公共施設等総合管理計画の個別施設計画の計画期間が、令和8年度で満了することから、次期計画を策定する中で、公共施設等再生ビジョンとして計画に掲げる総量抑制、最適配置、公民連携の基本理念のもと、その方向性につきまして検討していきたいと考えている。

※再質問はこちらからご確認ください。▶



#### 一般質問に関する豆知識

市民総合センターの老朽化については、延べ床面積、30年以上経過している旧校舎の部分が21.8%、20年以上30年未満が77.2%、20年未満が1.0%となっている。

市民総合センターは平成13年度に旧第五小学校校舎部分の改修を行って新設部分を合築した建物であり、新設部分は工事から20年、旧校舎部分は建築当初から53年が経過しており、令和12年頃には、新設部分は大規模改修時期、旧校舎部分は標準的な使用年数での建替え時期を迎えることになる。

#### 一般質問に関する豆知識【森林環境税・森林環境譲与税とは】

森林環境税とは、令和6年度から国内に住所のある個人に対して課税される国税であり、市町村において、個人住民税均等割と併せて1人年額1,000円が徴収されます。その収益の全額が、国によって森林環境譲与税として都道府県・市町村へ譲与されます。令和元年からすでに前倒して譲与されています。

※【清水彩子の一般質問の動画配信はこちら】▶



## 前回の活動報告 「あやれば」No.11作成後の主な動き

6月30日 【自治体・公共Week2022】に参加】

東京ビッグサイトにて、地方創生、DX、自治体向けサービス、地域防災、スマートシティ推進について学びました。



7月9日 【東京小児療育病院にドリームルーム開設イベントに参加(東京こどもホスピスプロジェクト)】

武蔵村山市にある、東京小児療育病院に「ドリームルーム」が開設しました。ドリームルームとは、小児がんや病気になって治療で学校に行けない子供たちでも気軽に学習支援を受けられたり、遊びや学ぶことができる場所です。

#### あやこの本棚



7月25日 【第54回 三鷹・立川間立体化複々線促進協議会と多摩地域都市モノレール等建設促進協議会に出席】

田口議長と共に、建設環境委員会副委員長(委員長代理)として出席しました。



7月14日 【自衛隊東京地方協力本部募集相談員連絡協議会定期総会に出席】

各地区の相談員と情報交換ができました。



7月28日 【新政会で、宮城県石巻市を視察】

震災対策と復興に向けた取組について、石巻市役所の皆様からお話を伺いました。

担当者の方から「多くの方に知っていただきたいこと」として、

①逃げるという意識を持って欲しい。

②情報をよく聞いて欲しい。

③どこを通れば帰れるか、交通機関のチェックをして欲しい。

この3点を教えていただきました。

7月29日 【宮城県気仙沼市 ゼロカーボンシティ宣言とカーボンニュートラルについて視察】

出していたお茶の容器は、脱プラスチックで紙製。クリアケースも紙製でした。

〈気仙沼カーボンニュートラルの取り組み〉

・地域新電力会社「気仙沼グリーンエナジー(株)」と連携し、再生可能エネルギーの利用拡大と地産地消を推進。

・公共施設への再生可能エネルギー及び省エネ・高効率機器の積極的導入。

・家庭向け創エネ・省エネ・蓄エネ機器の導入支援。

・脱炭素を意識したライフスタイルへの転換促進。

・市有林及び私有林の管理や森林整備など。

柚木沙弥郎氏は1922年生まれの100歳。

現役の染色家です。

エリザベス女王、ガブリエル・シャネル、人間としての魅力的な方々の人生はやはり本も美しいです。